

令和 6 年度第 3 回モニター会議の総括案について

1 開催趣旨

「令和 6 年度芽室町議会活性化計画主要事業（活性化策）」に掲げた「外部評価による議会活動の精査と向上」の具体的な取組みとして、常任委員会が 1 年間かけて調査研究を進めた政策課題（抽出事業）について、議会モニターによる外部評価を実施しようとするもの。

2 事業実績

- (1) 日 時：令和 7 年 1 月 3 0 日（木）18 時 30 分～20 時
- (2) 場 所：役場 3 階委員会室
- (3) 手 法：参集／オンライン
- (4) 出席者：モニター 12 名（うちオンライン 2 名）／ 議員 15 名
- (5) 議論テーマ：「芽室町議会の 1 年の活動を振り返る」

<評価対象事業>

- ① 「芽室町まちなか再生ビジョン」の検証及びあり方について
(総務経済常任委員会抽出事業)
- ② 「誰一人取り残さない防災対策の構築について」
(厚生文教常任委員会抽出事業)

<評価手順>

- ① 両常任委員長から抽出事業について説明（各 5 分）
- ② 5 グループに分かれてのグループワーク
 - ・ A・B グループは総務経済常任委員会の抽出事業について
 - ・ C・D グループは厚生文教常任委員会の抽出事業について
 - ・ E は両方
- ③ グループごとの発表（各 3 分）

3 事業総括

(1) 成 果：目的は概ね達成

議会における外部評価の目的は、議会運営や政策決定の透明性、効果性を高め、改善に向けたフィードバックの提供であり、今回のテーマにおいては、町民のニーズにマッチしているか、取組みについて過不足はないか、課題解決に寄与しているか等について評価していただいた。議会について関心や理

解をお持ちの議会モニターから、客観的な視点・町民の視点でどのような改善が必要かについて評価していただくことによって今年度の事業評価及び次年度への取組みのご意見をいただくことができた。

(2) 課題

評価対象事業の設定、評価の方法等については今後も検討が必要。

4 意見のまとめ（グループごと）

Aグループ

- ・今の取組みについて ビジョンマップメンバーふわっと終わった。
まちなかの区分け、お店が含まれていない場所も（問題では）
- ・何をどうしたいのか具体が見えない。
- ・まちなか商工の方はチェーンを嫌がる→もうかるのと思う。
- ・既存のお店だけでは難しい、外から呼んでくる。
- ・起業支援は充実している。
- ・空き店舗の活用
- ・ここが駅前かと思うほどシャッターが閉まっている。
- ・フクハラとか人が来るのにもったいない。
- ・店舗の2階が住居の問題について、協力してと声掛けは。
- ・ビジョンを作っていく、職員の認識の差で変わる
- ・実際に事業をやる→建物に関する支援弱い

<その他>

- ・裁判の話→町政を滞らせてしまっているのでは。やめさせられないのか。
- ・モニターをやったから見えた。議員のみなさんが頑張っている、情熱が伝わった。
- ・応募フォーム改善された。
- ・3階の議論が他町村に比べていい。

Bグループ

- ・進展具合はちょっとわかりにくかった。
- ・富良野マルシェをみた。めむろ一どだったらと思う。拠点化、人の流れを呼び込み。
- ・発信していない。視察の報告が届いていない。
- ・ユナイトの周知ができてきた。2月で終了なのが残念。続かないのはもったいない。
- ・P-PFIはちょっと心配。いい方向へ行ってほしい。
- ・具体的対策、空き店舗など見えにくい。
- ・ビジョンの実効性は進んでいる。
- ・小店ができています。もう少しで質的に変わるのでは。
- ・P-PFI、リンクの仕方を考えていくべき。

- ・まちなか中心地、スーパーが中心。めむろ一どの意味
- ・駐車場利用、めむろ一どを利用する
- ・イベント発進で人の流れをつくる
- ・ライジング跡地もったいない、活用できれば
- 「これからのまちなか再生」は
- ・少年団、スケートとか高すぎる
- ・拠点（子どもたちの）集まれるところの調査
- ・新嵐山の能力はある、グリーンシーズンだけなら「まちなか」へ

Cグループ

- ・上美生防災訓練を実施。障がい者もいたと思う。
- ・高齢者宅を訪問し避難誘導をしたがむずかしい
- ・訓練が大事、町内会の高齢化
- ・避難所がどこか知らない
- ・実際に災害が起きた時に訓練どおりにできるか
- ・そもそも意識が低い（災害に対する）
- ・高齢者が町内会をやめていく
- ・福祉避難所は法的に設置しなければいけない？
- ・福祉避難所の従業員は知っている？定期的にお知らせ等必要では。

<その他>

- 少子化に関心あり
 - ・将来的な負担はどうなるか？
 - ・インフラ等維持できなくなるのでは？
 - ※ベビーブームが起きれば良いが
- 役場の地域担当は機能している？
 - ・総会に出るくらい
- 近所が大事といっても若い人にはひびかない

<モニターを振り返って>

- ・会議の回数は多かった？→3回の会議はちょうどよかった
- ・楽しかったか？ → 正直楽しくはない
- ・サウンドカードは楽しかった

Dグループ

- ・先進地においては引継ぎはされていたが、実体験をした職員に説明してもらった。
- ・個別避難計画を作るにあたって個人情報の取扱いがネックとなっていた
- ・どんぐり会の要望→視察→要望どおりの実現はなかなかむずかしい

- ・議会としてフォーカスする次のステップは「仕組み」なのか？「環境」なのか？
- ・実現にあたっては、地域住民の協力が必須
- ・要配慮者の名簿のアップデートなど非常にむずかしい
- ・他自治体の事例→コミュニティナース
- ・災害時の町内会単位で声を掛け合うが、会に入っていない方の状況が把握しにくい
- ・報告書ベースで伝わらない部分もあり発信が必要
- ・事前に意識を高めるきっかけが必要（災害発生）
- ・要配慮者や家族の意識も変わっていく必要がある
- ・意識を変えるためには定期的に避難訓練等が必要

Eグループ

<厚生文教所管事業について>

- ・意見交換会から一般質問、そして委員会調査事項に抽出し取り組みを実施した経緯については良いと感じた。
- ・長年団体から困りごととして受け取っていたのに議会が行動に移せなかった事は課題だと感じた
- ・十勝で起きる災害（地震）については、日頃からの備えが重要と再確認できたので自分もそうしたい

<総務経済所管事業について>

- ・嵐山のことばかりが取り沙汰されていて、町がまちなかの再生に取り組んでいることは知らなかったし、まずそのことを課題とした委員会の視点は良いと感じた。
- ・視察に行った成果は必ず今後の活動に反映してほしいし、町民にもわかりやすく周知してほしい
- ・芽室のまちなかは人通りが少ないが賑わっているように感じる（ジモト大学の活動を通じて）。高校生は駅を起点に行動するので、駅周辺がもっと楽しくなったら嬉しい。

<その他（これからの嵐山について）>

- ・野草の群落を見ながら散策がこれからもできたらいい
- ・社会人になって犬を飼えたらドッグランに連れて行きたい・
- ・コテージなら泊まってみたい。
- ・子育て中は各地の公園などをまわっていたので屋内遊戯施設があれば、同様にたくさん訪れるのではないかな。

<一番の関心ごとについて>

- ・中学校の説明会では部活動の現状説明にがっかりした（先生の負担、限定された競技など）。どの学校にいても好きなスポーツを選択できる環境が欲しい。
- ・高校生としてはこれから芽室のまちなかに地元食材を使ったご飯屋さんが増えて欲

しい。最近まちなかでご飯を食べられる店が減ってきているのが残念。

<モニターを経験して>

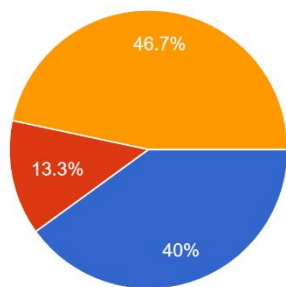
- ・議会広報にじっくりと目を通す習慣がついた。町のことについて議員と話せる貴重な機会だった。
- ・楽しかった。議員と関われる機会は良い経験だった。

令和6年度 第3回議会モニター会議 アンケート結果
(議会モニター20名中：回答15名)

令和7年2月19日集計

1-① 3回目に実施した「議会活動の評価」についてはいかがでしたか？

15件の回答



● わかりやすかった
● わかりにくかった
● 出席していない

①わかりやすかった 6
②わかりにくかった 2
③出席していない 7

1-② 「わかりにくかった」とお答えの方は改善点などありましたら記載願います

- ・事前に様々な方法で発信していれば(発信していても見逃していたら申し訳ない)、項目についての予備知識があった。報告内容も、言い辛い部分もあるだろうが、もう少し的確な説明があればなお良かったと思う。
- ・5分程度の説明で評価するのは難しく、漠然とした感想になってしまった。スライドや図表などを用いた説明をしてもらえると具体的な意見が言いやすいと思う。
- ・私はわかりやすかったのですが、それは、事前に議会ホームページで委員会議事録を読んでいたりと、議員数名のFacebookで現地調査の様子を見たりしていたからだ気づきました。モニター会議の前には、毎回、委員会議事録のリンク先をお知らせしてもよかったのかとも思いました。

2 議会モニターを経験していかがでしたか？

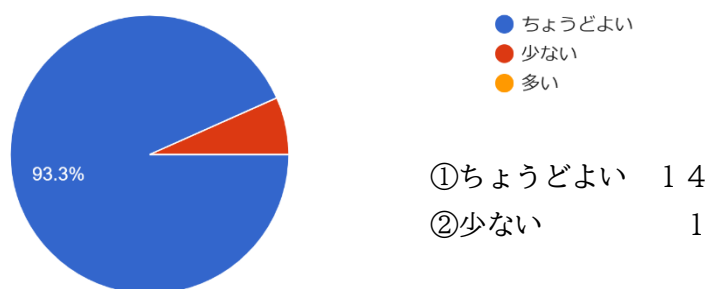
- ・仕事の都合上、なかなか参加できずに申し訳ございませんでした。
- ・町のことに関心が持てるので、個人的にはとてもいいと思っている。
- ・芽室町について、議員さんたちやモニターの方々とは落ち着いて話し合う機会は、私にとって貴重な学びの時間になっている。モニターになってから、すまいるや議会だよりも以前よりしっかり見るようになった。
- ・町の様々な事を知ることが出来て勉強になりました。
- ・サウンドカードを利用したファシリテーションは新鮮でした。政策に関する情報提供が

少なく、もう少し学習する機会も盛り込んだ内容が欲しかった。

- ・ 議員さんと色々と話せたり、参加モニターの方とも顔見知りになれたこと、良かったです。また、テーマによってはあまり関心のないことも考えるきっかけになり、大変勉強になりました。
- ・ 2年間やってみていい経験にもなりましたし、すごく楽しかった。
- ・ 2年目でしたが昨年より内容の濃い話が出来たと思います。
- ・ モニターは2回目でしたが、以前より話せる時間が長くなり、疑問があれば質問できる良さがありました。サウンドカードもよかったです。今後も活用いただけると、参加者それぞれの日常の経験、知見から、あらたな活路も見えてくると思いました。
- ・ 芽室町の良い所、これからの課題などを色々と知る事が出来ました。
- ・ 町のことを自分事として考える良い機会となりました。
- ・ 色々なモニターの方々がいろいろな考え方があることが新鮮でした。
- ・ 回答が期限を超えてしまい大変申し訳ありません。初めて参加して、とても貴重な体験ができました！芽室町への愛が深まりました！
- ・ 特にありません。
- ・ 町民や議員の方々と意見交換が出来、有意義な時間を過ごせたと思います

3 今年度、モニター会議は3回の開催でしたが、頻度についてはいかがでしたか？

15件の回答



4 議会に対するご意見、ご自身が気になっている政策課題等があればご記入ください

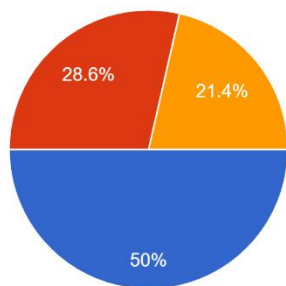
- ・ 議会がどれだけ絡むことになるかわからないが、部活動の地域移行について。NPO法人を設立して運営を担う形式が一般的になりそうな気がするが、行政(議会)としてどれだけ支援が可能になるのかが、成功の可否だと感じている。
- ・ 芽室町議会の皆さんは、町民の声を聞いたり調査をする取り組みを積極的に行われていて、とても頼もしく感じます。個人的に感じていることですが、中学校の制服が年に数回しか着ないのに高額で、負担感があります。また、男の子に HPV ワクチンを接種した

いが、助成がなくなためらっています。

- ・ 議会モニターで、一度もお話出来ずの議員さん がいましてので残念です。
- ・ 新嵐山の今後。まちなか再生。芽室公園の今後。
- ・ 子どもの体験格差
- ・ まちなか再生の今後に期待しています。 もっと沢山の町民の意見、提案を聞けたら良い と思います。
- ・ 嵐山に関すること、子育て支援や教育に関すること
- ・ 議員のそれぞれの主張がみえない。 テーマごとに議員さんと意見交換をしたかった。

5 次年度の議会モニターについて

14件の回答



- 可以继续
- 继续できない
- まだわからない

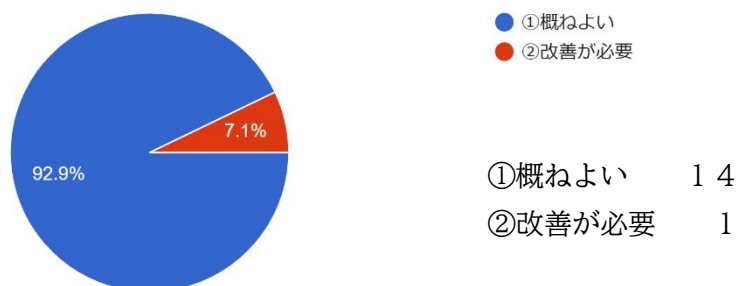
- ① 可以继续 7
- ② 继续できない 4
- ③ まだわからない 3

令和6年度 第3回議会モニター会議 アンケート結果
(議員：回答15名)

令和7年2月19日集計

1. 当日の運営について（方法、内容、進行など）

14件の回答



1で②と回答された方は具体的に記載願います。

- ・かなり新鮮な意見を聞くタイムスケジュールだった。
- ・常任委員会報告は分かりやすい工夫が必要

2. 外部評価という位置づけでしたが、説明・説明資料・グループワークの進め方などいかがでしたか？（回答：13件）

- ・評価ということに関しては、問いかけに対してモニターさんが戸惑う部分もあったため、何かしら共通の具体的な問いかけがあるとファシリテートしやすいと感じた。
- ・参加者の意識もあると思うがとっても良かった。
- ・抽出事業についてはモニターさんにお伝えするのがはじめてだったこと（経過報告などはしていない）もあり、グループワークの中で改めてかみ砕いた説明をしてご理解いただく状況だった。外部評価の位置づけとして活かすのであれば、年度の中で説明の機会があると理解を深めていただけると感じた。
- ・議会活動について「議会モニター」に評価してもらおうということについては、この間整理できてよかったと思うし、今後も位置付けて実施することでよいと思う。評価してもらおう手法については、相手の評価する側の立場に立った工夫が必要だと感じた（説明資料や内容についてもう少しわかりやすい工夫）。
- ・モニターさんが思った事を忖度なく言えたようだった、今の街なかと新嵐山の方角も話せた。
- ・項目を選定し、各G共通した中での進め方がよいと思う。

- ・説明だけでは詳細まで理解できないため、グループワークで質問され、課題認識と今後の展望など意見をいただいた。その上で終わった後のアンケートで評価していただくことで良いと思う。
- ・外部評価に繋げるとするなら具体的な評価方法の改善が求められるし、グループ内の均一化が必要
- ・外部評価としては薄過ぎる
- ・厚生抽出事業、上手く説明できず申し訳ありませんでした。グループワークの議論も深まらなかったのではと思っています。
- ・資料説明は簡潔明瞭ではなかった。グループワークは評価よりも事業への意見聴取になっちゃった。
- ・特に問題は無かったと思います
- ・特に問題はないと思います

3. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。(回答：9件)

- ・参加者が新鮮に一生懸命各自のポジションで頑張っている姿勢が伺われた。
- ・おおむね、モニターの皆さまには参加のしがいを持っていただけたと思います。次年度以降も多くの方に参加いただけるよう推進したいと考えます。
- ・きっと正解はないと思うのでその時なら考えられるベストと思う進め方で良いのではと思います。
- ・新嵐山の屋内遊具についての考え方をよく見ていく必要があると思いました。
- ・真剣に町の課題について一緒に考えてくださり参考になる
- ・第一回から第三回までを振り返り、年間通じどの様なモニター会議にすべきかを総括すべき
- ・当初からモニターに対して外部評価の目的や対象事業についての説明は必要
- ・外部評価は大切だと思います。モニターさんの声を今後も様々な事業に活かしていければと思います。
- ・欠席してたので内容が理解出来ていません。すいません